

# 8/25第2回WSの意見整理

## 北道路

- 交通量が少ない。
- いっそのこと入りづらくして、南側に道路を通してはどうか？

## 北東道路

- 幅員が狭い(車が通ると歩行者は家の敷地に避けるほど)
- 通学路
- 建物を配置すると駐車場への行き来が発生して危険。
- ミサトベース駐車場+跡地建物駐車場で交通量が増えてしまう。

## 緊急道路の確保

- 災害時緊急時のため、東西を横断できる道を作るべき

## 小山の位置

- 南東に配置。駐車場からの視線を遮り、小山を抜けたときに景色が広がる仕掛け。
- ソリやスキー遊び

## 建物(+駐車場)の配置

- 南西案
  - 隣接する土地と一体的に敷地が広く使える
- 北西案
  - 西側道路は交通量が多い。
  - 跡地西側の一体的活用。(7区のごみステーション、お墓側、一畝の倉庫があった場所)
- 建物(トイレ)は南北に2か所あった方がよい。(お年寄りは移動が大変)

## 駐車場の確保

- 良い公園作っても駐車場がないと人が来れない。
- 若松の運動公園(250台)の半分はほしい。
- 駐車場としても使える広場

## 南側の町有地の有効活用

- 建物を南西に配置し一体的に活用

## 車いすへの配慮

- 駐車場と園路は隣接させてほしい(D案では間に駐輪場がある)。
- 水路の幅や橋の位置の工夫(健常の子と一緒に行動できるように)。

## プレーパークゾーンの機能と位置

- こども園と機能が重複? ⇒現状では一般人は入れないのであって良い。
- 西側道路は交通量が多いので、プレーパークは北東が良い。

## 遊び場、遊具の充実

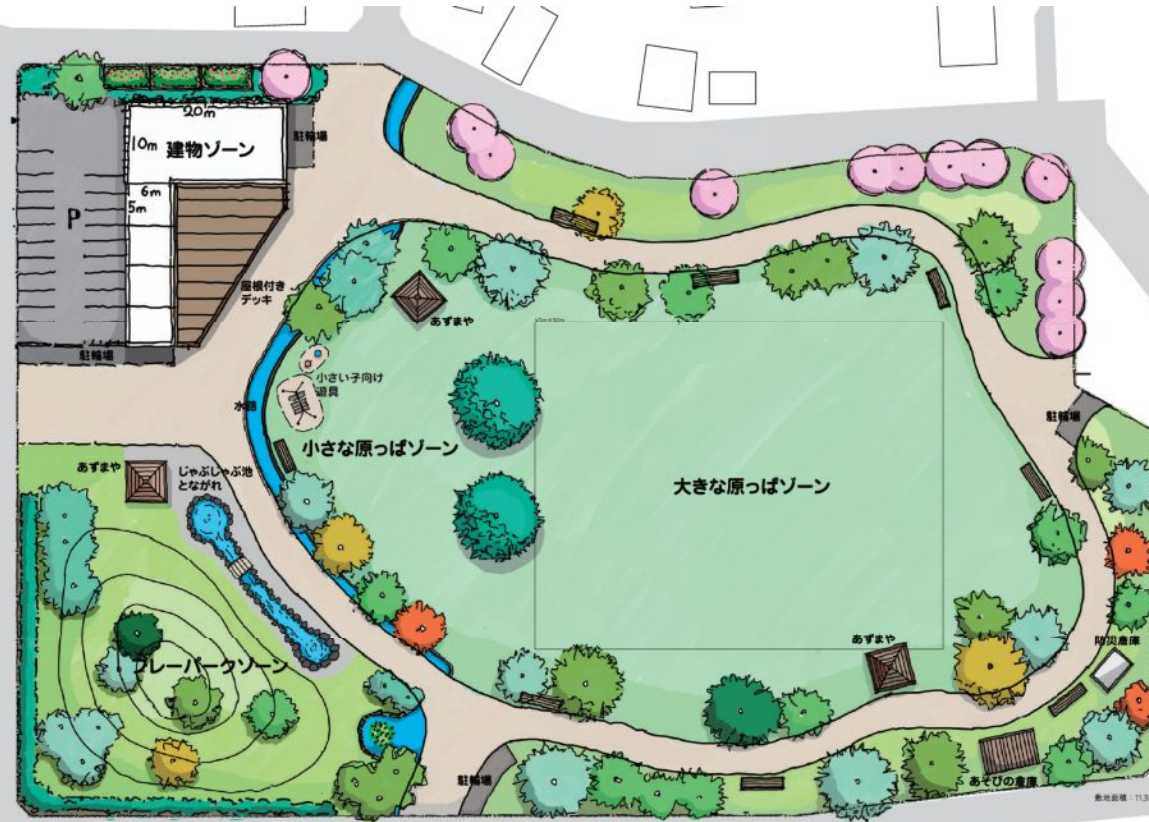
- バスケットボールができる場所
- 遊具が必要(普通の遊具。町内の公園は遊具が少ない)。
- 目玉となる遊具、子どもがワクワクする仕掛け。→集客力にもつながる。
- 中高生の遊び場を中高生の企画でつくる。

## キッチンカーのスペース確保

- カフェは無理でも、キッチンカーが出店しやすい環境は整備できるのでは？
- 木陰の脇にキッチンカー(近くで休みながら飲食できるのは魅力的)

## その他の意見

- 桜並木
- 日除け・風よけの林
- 水辺 ⇨水路が邪魔に感じる。
- メタセコイヤ周りにステージ
- せとものを活かした装飾
- 盆踊りを中心とした文化祭
- 学校の跡地であること活かしたい。「学びの場」として何をするのが大切。



8月25日会津美里WS\_検討案



# 【全体スケジュール】

計画  
策定

基本  
計画

検討  
素案

素案

実施  
計画

町民  
ワーク  
ショップ

第1回  
7月4日

- ✓ 今年度の予定
- ✓ 昨年度のおさらい
- ✓ 町民の意向確認

第2回  
8月25日

- ✓ 検討素案について議論（機能、配置のたたき台）

本日 第3回  
10月14日

- ✓ まち歩きにより、周辺環境や機能等の確認

第4回  
12月（予定）

- ✓ 実施計画素案の検討
- ✓ 管理運営の検討

第5回  
2月（予定）

- ✓ 実施計画案の確定

8/6  
せと市  
◆ 広場の大きさ

11/19 秋の実証

- ◆ 建物の配置、規模等
- ◆ 子どもへの聞き取り

冬季  
（未定）

- ◆ 冬の使い方
- ◆ 町民の関わり

実証実験

- ・ 短期
- ・ 長期

跡地開放（日常利用）

設備・備品の設置（トイレ、水道、倉庫等）

## ～本日のまち歩きで大切にしたい点～

### ○3つのテーマ（利活用方針より）

（子どもが自由に遊べる場所）

#### こども・あそび

- ・あの頃(参加者の子ども時代)のあそび
- ・現在利用されている場所 or NOT=事前ヒアリング？
- ・遊び方
- ・今の子どもに体験してもらいたいこと
- ・人気の理由？
- ・安全性
- ・年齢層
- ・時間帯

（コミュニティを形成することができる場所）

#### コミュニティ 暮らしと文化

- ・集う場
- ・井戸端的な場
- ・学びあいの場
- ・地域活動の場
- ・防災の場

（本郷地区に賑わいを創出するための場所）

#### 魅力・賑わい

- ・これまでの本郷
- ・本郷らしいもの
- ・魅力的なもの
- ・魅力的な風景
- ・発信の方法
- ・外部からの見え方(交通・取組)

### ○基本的な考え方（基本計画より）

- ・【人をつなぐ】 あらゆる人が集い、つながる場所にしよう
- ・【未来へつなぐ】 地域に親しまれ、次世代に誇れる場所にしよう
- ・【まちをつなぐ】 この場所らしさを活かし、まちの拠点にしよう
- ・ 急がずゆっくり時間をかけて、みんなでこの場所を育てよう

あの頃の本郷、  
今の本郷、そして、  
これからの本郷  
(まちの愛着をつな  
いでいく)

